



この新聞はHP (<http://www.npo-asia.org>) でも読めます。上のQRコードを読み取ってください
 〒154-0016 東京都世田谷区弦巻 2-18-22-414 E-mail: new-wind2006@npo-asia.org

新規事業「出前講座」を開設

交流校の学生対象に、アジ風の会員が得意分野の講義をするという構想は、かなり前からありました。以前、大学からそのような要請があった頃は、派遣する航空運賃を考えるととても実現は難しかったのですが、コロナ禍でオンラインの交流ができるようになり、思い切って正会員から得意分野の講義を募集したところ、多数の応募がありました。これを「出前講座」と称し、今年度の新事業として位置づけ、大学からの注文に応じて、2023年12月から3月にかけて展開しました。(出前講座担当理事 上 高子)

12月7日、バジャジャラン大学向け出前講座「米と茶の話」

出前講座第一弾は日本語学科の翻訳授業の一環として、加納啓良理事長が「米と茶の話」を講義された。加納さんはインドネシアに3回も駐在の経験があり、東南アジアの経済と社会、特にインドネシアの農村経済を中心に、長年に渡り研究を続けておられる。今回は「日本とインドネシアの食生活の比較」の側面から、「米」と「茶」にフォーカスを当ててお話頂いた。

両国は「米」を夫々、自国で栽培、主食としているが、日本では徐々に米の消費量が減る反面、小麦粉の消費が年々増加、一方、インドネシアは米の消費量は増え続け、小麦の消費量も増加して

いるが一人当たりの消費量は日本より少ない。そして両国とも米を加工して煎餅やもち菓子など独自の食べ物がある。また、食事の時に飲むお茶は日本では和食にあう緑茶が多く、インドネシアでは香辛料にあう紅茶が好まれている。学生は両国の共通点と、相違点を再認識し、インドネシア語で質問がいくつかあった。大変分かり易く、興味深い講義だったとの感想が多く寄せられた。



〈左から加納理事長・サムスル先生〉

(理事 古海 正子)

12月9日、「日本企業はこんな外国人材を求めています」

日本の各業界から人事担当の方に集まっていたいただき、パネルディスカッションを行いました。



〈上段左から小関さん・大澤さん
 下段左から 堀さん・大石さん〉

パネリストは商社から堀良行さん(法人会員・社員)、金融業界から大石純さん(正会員)、製造業の小関高志さん(正会員)と大澤宏介さん(非会員)。ファシリテーターは役員の筆者。聴衆は4大学の学生と先生、元Iメイト学生、日本人会員も含めて100名近くに

上りました。

自己紹介から始まり、各業界と企業紹介、外国人採用の現状と期待、求める外国人像という内容で、外国人材の活用に関しては、日本企業の取り組みを説明いただきました。各企業の具体的な採用についても触れられ、最後は質疑応答で締めくくりました。

事後のアンケートでは、言葉がわかりにくかったというコメントもありましたので、これは反省材料としますが、日本企業就職について考える糸口になったのではないかと思います。

(Iメイト交流担当理事 奥山 寿子)

1月21日、貿易大学対象のパネルディスカッション 「日本で暮らす・働く」

このディスカッションの特徴は、元Iメイト学生で現在アジ

風の会員たち(ベトナム人)が、母語で実施したことです。ファシリテーターは会員歴13年のチャン・トウ・チャンさん。3人のパネリストは同じく貿易大卒業生たち。4人とも日本企業に勤務しているため、テーマについて正直な体験談を披露してくれました。印象に残ったのは、「日本人は職場とプライベートとを分けるので、個人的にあまり親しくなれない。外国人とわかった瞬間に、顧客相手から抵抗感が見られる。日本人は本音と建て前の区別があり、

感情を表にあらわさない人が多い」などで、これから外国人労働者を積極的に受け入れていくべき日本人として有益なコメントだと思いました。

2月10日、タマサート大学学生向けの出前講座 「日本とASEANの経済関係と今後の課題」

タマサート大学の学生、卒業生7名が、旧正月の休日にも拘わらずリモート講義に参加されました。学生の皆さんの理解度は、日本語能力により多少差があったようですが、普段馴染みの薄い経済学分野の話題であっても、少なからず関心を引くことができたようで嬉しかったです。

交流校の在るタイ、インドネシア、ベトナムを含むASEANメンバー10か国は、経済発展度が異なり、また、多様な民族、宗教、言語、伝統文化を有する国々から構成され、真に「ダイバーシティ：多様性」を特徴としています。多様性を尊重しつつも、統合したASEANの一体性を強化することが、地域の更なる発展

や国際的発言力を高めるために必要で、そのためには若い世代にもっとASEAN市民意識をもってもらいたいというのが講義を通じてのメッセージでした。

ASEAN諸国の多くは、今世紀後半には確実に人口減少社会に転じ、潜在成長力が衰え始めます。日本は、今後のASEANの持続可能な発展を支えるために何ができるのか。ASEANをもっと身近に感じ、人と人との交流を深めていく必要があると思います。

3月9日には清華大学生向けに実施しました。

(正会員 小山 昌久)



オンラインでもリアルでも活発にIメイト交流会

おしゃべりの場

タマサート大学

学生集会

タマサート大学のおしゃべりの場は2022年1月に始まり、合計12回開催された。2024年の1回目は1月13日に、昨秋マッチングの新しいIメイトペアも参加し開催した。学生16名、日本人16名が5つのグループに分かれ、自己紹介、趣味、行きたいところなどを自由に話し合った。進行役の日本人は巧みに学生の興味を聞き出した。私のグループでは大阪大学に留学中のシャノン・キーラーさんが京都・奈良での経験や美味しかった和食の話や披露、タイの参加者は興味津々で耳を傾けた。学生コーディネーターはカーンシリー・ピティパットさんの留学に伴いナリッサラー・ピティヤーピロムさんに変更、これからもおしゃべりに花が咲くのを楽しみにしている。

(おしゃべりの場担当理事 古海 正子)

1月25日にシリワン先生主催の元、学生集会が開催されました。参加者は、2022年にIメイト交流開始の学生が7名、2023年が11人の合計18名でした。写真にみられるように和気あいあいとした雰囲気、楽しみながら実施されたようです。最近Iメイト交流において日本人会員発信のメールが突如未達になる事例が多く、交流における不具合を探ってもらいましたが今のところ支障ないようです。今後も学期末に開催を願う予定です。

(コーディネーター 富平 茂)



2023年マッチング組オンライン交流会(2024/2/3)

架け橋グループ交流会

自己紹介のあと2グループに分かれてフリートークを行いました。架け橋の学生は日本語学習が初めての人がほとんどです。初めての交流会について進行役の二人に感想を聞きました。

Aグループ 浮田輝彦さん

日本についての興味(さくら、花火、歌舞伎、最近の日本の歌など)についてフリートーク(主に英語)をしました。2人はインドネシア、マレーシア出身なので中国との国情の違いを聞いてみましたが、入学後間もないので、そんなに違いは感じていないとのことでした。

Bグループ 岡村一さん

オンライン交流会は顔が見え親近感が芽生えます。私のIメイトの杜怡萱さんとも身近になりました。日本語既修者以外は発言が少なかったです。東工大・清華大交換プログラム留学生は授業

も英語がメインだそうですが、留学生活を楽しむためにも積極的に日本語を喋るようアドバイスをしたいです。

2022年マッチング組(現留学中)下町リアル交流会(2024/2/18)

下町両国・浅草を巡る交流会を楽しみました。昼食後北斎美術館で浮世絵を鑑賞。隅田川を水上バスで浅草へ、周辺のスカイツリーの絶景を楽しんで浅草寺へ。おみくじ引いたら大吉の大当たりがでました。天気にも恵まれ、会話も弾んだ楽しい交流会となりました。

(コーディネーター 小関 高志)



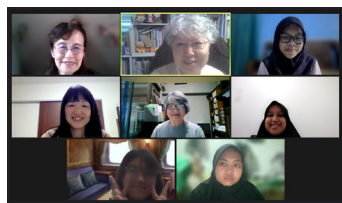
森の中の活動も

パジャジャラン大学おしゃべりの場(2024/2/17)

新しいことを学びました

グループトークでは、ブレンダさん、リサさん、アリンビさん、Iメイトのナナさん、古海さん、奥山さん、福田さんと一緒にしました。西ジャワ島バンドン市にあるパジャジャラン大学は名前に「ジャワ島の人々を導くように」と込められている通り、学生さんは一か月に及ぶボランティア活動を終えたばかりでした。森の中で地元の人々と働いたり、小学校で英語を教えたり(カリキュラム作りも)。お薦めの場所や美味しい食べ物の話で盛り上がりましたが、何と云っても今年の抱負をお聞きして日本人メンバーも多めに刺激を受けました。みんな頑張ろう。

(正会員 矢野 恒子)



〈上段中央が矢野さん
2段目右端がナナさん〉

私は日本人と交流したいと思い、アジアの新しい風のプログラムに参加しました。ここでは、メールでいろいろなことを話したり、直接お話ししたりしてまた新しいことを学びました。

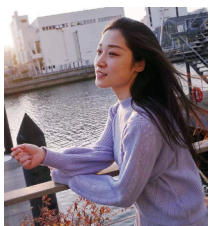
最初のメールでは、ティナ(矢野恒子)さん(私のパートナー)がふりがなや英語で説明してくれて、やはり、優しい人だなと思いました。ティナさんのSNSをみて、とても元気で活発な人だとも思いました。この前、何人かで直接お話ししたとき、インドネシアに興味をもってきているのを感じました。本当に嬉しかったです。

(パジャジャラン大学2年 ナビーラ ファウジア)

アジ風奨学生レポート

王 鶴

第2回奨学生で、故・河村新蔵さんとIメイトでした。奨学金受給に際しては大変お世話になりました。最近、私は保険会社から証券会社に転職しました。現在は日本企業が発行している社債の分析業務に携わっています。



社債の価格は市場の変動に影響を受けやすく、金利市場や企業の経営状態に関する深い洞察が求められます。常に最新のニュースや決算結果をキャッチアップすることが必要です。また、公開した価格は実際に取引できる価格とはだいぶ違う場合が多いです。そのため、分析の不確実性はやむをえず生じてしまいます。河村さんは数理科学科の教授でしたので、この不確実性を知ったら、面白い仕事だなと思ってくれるのでしょうか。

転職の過程でアジ風会員の中本寧さん(キャリア・コンサルタ

ントとして留学生支援活動を行っている方)からサポートをいただき、非常に助かりました。中本さんは自分の興味や志向をどのように分析すればよいかを教えてください、その結果、私は分析の仕事に向いていることに気づきました。また、ご自身の仕事に対する感想も共有して下さったので、その情熱と喜びに満ちた経験を通じて、私はチャレンジに対してもっと勇気を出せるようになりました。中本先生のアドバイスのおかげで、私は自分の道を見つけ、新しいキャリアに飛び込むことができました。

唯一困っているのは、パソコンに向かった長時間労働や長時間の座り作業により、肩や腰の痛みが生じ、目の疲れやまぶたの痙攣などが頻発していることです。ハイテックは日々躍進しており、AIの急速な発展に感動している一方で、時折、技術がこれほど進んでいなかった過去を懐かしむこともありますね。

(編集部註: 清華大学卒業後、一橋大学大学院の研究生として1年、修士として2年、奨学金を得て修了。大手日系企業に就職。現在賛助会員)



「ここに幸あり」 交流校各国の結婚式

ドゥアンケーオ・ストプラー（リボン）さんの結婚式参列

2023年12月10日、妻の元Iメイトのタイのリボンさんの結婚式に、私共夫婦とアジ風会員で、リボンさん在中色々とお世話になった本間明子さんの3人で参列しました。

リボンさんはタマサート大学院から琉球大学で博士号（社会学）を取得し、日本企業を経て今はマヒドン大学で教鞭をとっています。妻とはその間ずっと親交を深め、益々お互いの存在が大きくなっているようです。

そんなリボンさんの結婚式は、タイの風習に従い、お坊さんに相談して決めた吉日時（午前9時9分）に始まりました。民族衣装も晴れやかな新郎新婦に誘われ、緑豊かな屋外のテーブルに着席すると、にぎやかで北部地方色豊かな踊りあり、嫁とり問答ありの式がご馳走と共に進んでいきます。タキシードとウエディ

ングドレスにお色直した2人に、新婦側からは妻が、新郎側からはアメリカ人の夫婦がお祝いのスピーチをしました。夜にも親しい者のイタリアンディナーがあり、一日中結婚の喜びに満ちた賑わいに



〈新郎新婦を囲む森さん夫妻と本間さん〉

浸りました。また、私の念願のタイ・ミャンマー・ラオスに接するゴールドトライアングルにも行けました。リボンさんの実家にも案内してもらい、素晴らしいタイの田舎に感動した中身の濃い旅行となりました。

（正会員 森 遵右）

イスラム式の結婚式に参列して

2023年12月に、元Iメイトのナディア シャフィラ スプラプトさんの結婚式に招待されインドネシアに夫婦で行って来ました。約5年ぶりの再会でした。

ナディアさんはパジャジャラン大学の最初の日本留学生として立教大学に1年間留学し、帰国後日本の大手自動車メーカーの系列会社に就職し社長秘書として活躍していました。そこで本社から派遣された日本人青年と知り合ったそうです。5年前にアジ風のインドネシア訪問団に参加した私たちはジャカルタでナディアさんのお母さんに会っています。今回お母さんに再会して、女手一つで育て上げた一人娘を手の届かない日本に嫁に出すお母さんの心情に深く心を打たれました。

結婚式はバリ島の結婚式場で大勢の参列者に見守られながらイスラム式で厳かに行われました。彼はイスラム教徒となりナディアさんと結ばれました。式が終わる頃、バリ島の大海原に沈む夕日がとても美しかったです。

そして今、ナディアさんは愛知県刈谷市で日本での新婚生活を始めました。毎日の料理の献立に悩むなど、楽しいながらも留学生時代とは違った一家の主婦としての生活の重さをあらためて実感しているようです。私たちはこれからもナディアさんを見守り応援していきます。

（正会員 荒木 春洋）

チーさんの結婚式

レ・テイ・ミ・チーさんから2023年12月30日にベトナム



〈両家一族と筆者・右から3人目〉

の故郷ニンビンで行われる結婚式への参列を依頼された時、正直迷いました。しかし調整すれば、31日に帰国、正月にも間に合うとわかり、行くことにしました。私のIメイトで、チーさんと親しいグエン・ロアさんが同行してくれ、限りなく心強い旅になりました。

自宅に祀られた神様の前で儀式、その後ホテルでの披露宴、200名ほどが集まり、ご馳走を囲み、カラオケが響き、とめどなく写真が撮られ、盛り上がるひと時でした。彼は日本人ですが、すっかりチーさん一家に溶け込んでいるようでした。お父様の寂しそうなご様子が心に残りました。いずこも娘を嫁に出す父の気持ちは同じです。

（理事 島村 美智）

速報！！スピーチコンテストで特別賞受賞

3月17日に一橋講堂で開催された日本経済新聞社主催「第17回全中国選抜日本語スピーチコンテスト本選」に清華大学4年生、杜晗熠（トカンシュウ）さん（Iメイトは池浦正子さん）が出演し、惜しくも入賞ではありませんでしたが、審査員特別賞で表彰されました。彼は6月に卒業した後、日本企業に就職予定です。



（編集部）

会員紹介

浅山久美子さん

神戸市で生まれ育った浅山さんは大学時代阪急神戸線西宮北口で今津線に乗り換えて甲東園に、同じ兵庫県の尼崎市で生まれ育った私は高校時代同じ阪急神戸線西宮北口で今津線に乗り換えて今津経由甲子園に通っていたことが分かり、インタビューはのっけから盛り上がりました。

大学は社会学部に入学されましたが、その頃の大学は学園紛争で授業どころではありませんでした。折しもお父様がデュッセルドルフ転勤となり、そのお世話の為にドイツに行くことになりました。語学学校で出会った日本の大学の先生に折角のチャンスなのだから本腰を入れて勉強しなさいと励まされ、それまでの学生生活と一変してケルン大学、ボン大学などで猛勉強をなさいました。その努力が実り、帰国後は翻訳の仕事に就き、結婚、出産を経て、再びドイツ語を磨いて留学関係の雑誌のドイツ語編を作成や、リサイクルのコンサルタント会社でドイツ関連の情報収集の

仕事に就かれました。その後ご主人の転勤でロサンゼルスにも4年暮らされました。

アジ風に入ったのは大学同窓の奥山寿子理事のご紹介ですが、ご自身が外国に留学した時の経験をIメイトと分かち合いたいという気持ちと、現地の人達と親しく交流するきっかけは留学生にはとても大切なことだとの思いから入会されました。



Iメイト交流は今まで3人ですが、モンゴル旅行の楽しい写真集を見せて貰ったり、留学に来られて交流会で楽しく語り合ったり、素敵な交わりが出来ましたが、一方で相手にとって負担が大きすぎたのか、交流が続かなくなってしまったこともあったとのこと。アジ風新聞で紹介されるIメイト交流は上手く行った話が殆どですが、逆に上手く行かなかったケースも紹介いただければ、どうすればよい交流が出来るかと悩んでいる人には参考になるのではないかとのご提案をいただきました。

インタビュアー：園田 成和



2022年には16組、2023年には19組のIメイトマッチングを実施しました。2022年組には、昨年10月にアジ風のタマサート大訪問時にお会いしましたが、学生の皆さんはとて明るく快活で学校生活を楽しんでいるようでした。市内観光時にも多くの学生にお付き合い頂き、日本人会員一同心より楽しみました。2023年組にも今後お会いすることを楽しみにしています。今回のIメイト便りに、2022年組より含本一雄さんとシャリサー・メーターピスイット(ハーブ)さん、2023年組より井上巖さんとワンサイ・ソマナワット(ワンサイ)さんに登場お願いしました。(交流コーディネーター 富平 茂)

含本一雄さんとシャリサー・メーターピスイットさんの交流

含本さん→ハーブ(シャリサー)さん 2023年12月28日



日本語能力試験もうまくいったようですね。

1月後半の発表が楽しみです。人生は常に好奇心の触手を動かし続け、しかるべき準備をして挑戦を続けることでしょうね。時には、失敗や挫折もあるでしょうが、そこから学び、また立ち上がって成長していくのかなって思います。

12月僕は71歳になりましたが、「生涯発展途上の71歳です」と言う気持ちです。

さて、来年の留学について、いずれも素晴らしい大学なので、結果を楽しみに待ちたいと思います。

あつという間に、今年もあと3日になりました。それでは、よいお年をお迎えください。

(この間にLINEメールを頻繁にやり取りし、2月にはバンコクで直接会って食事をしました。)

ハーブさん→含本さん 2024年3月10日

こんにちは。メールありがとうございます。今回、含本さんに会えて嬉しかったです。

人生はずっと転んで立って走ってまた転んでまた立ってまた走ってますね。最近、私はそうです。自分のことを迷って、自分の未来を心配しすぎて、時間は止まらないで毎日大きくなって、さっそく大人っぽくなるべきの感じがします。私は今年21歳になると考えて圧倒的な感じをしすぎて、もっと楽しんで、自分に「一歩ずつ」思い出してちょっと落ち着くなります。いつも、心を開いておくようにします。一歩ずつ、自分を探してみます。

私はずっと「自分の声を何かすればいいのかな?」と考えています。歌うことも好きだし、キャラクターたちを演技をするのも好きだし、声優のクラスに勉強して、私は思ったよりスタジオにいることが好きです。なんか励みになります、この道に。やってみます!声優のこと。一所懸命頑張ります!含本さんの優しい言葉をありがとうございます。私は頑張りますね!この人生のこと!

今後の行事予定

*詳細はHPを参照

4月28日

4大学合同交流会

「それぞれの国の伝統文化」

於: JICA 地球広場

(ハイブリッド形式の開催)

5月25日~26日

清華大学訪問

日程未定

出前講座 短歌

井上巖さんとワンサイ・ソマナワットさんの交流

井上さん→ワンサイさん

2023年12月23日



メリークリスマス!クリスマスには何をしますか?私は旅行で温泉に行きます。

ワンサイさん→井上さん 12月25日

こんばんは!あとメリークリスマスです。旅行楽しんでください!

今日私いところ遊び行きましたよ。最近タイはとっても寒くなっています。日本は寒いですか?

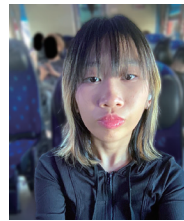
風邪をひかないように気をつけてくださいね。

井上さん→ワンサイさん

12月27日

日本語アドバイスです。

*「いとこ」を漢字で書くと、男のいとこは「従兄弟」、女のいとこは「従姉妹」となります。



*「ですか?」は「な」をつけず、「ですか?」と書く方が良いです。

日本も先週は寒かったですが、また暖かい日が続いています。温泉は大変気持ち良かったです。あと4日で今年も終わりですね。ワンサイさんにとって

は良い年でしたか?、私は、病気にもかからず、

旅行やゴルフなどを楽しめたので、良い年だったと思っています。ワンサイさんはどんな目標を持っていますか?

ワンサイさん→井上さん

2024年1月2日

直してくれてありがとうございます!

明けましておめでとうございます。間に合いますか??

私にとっていい年でしたよ!初めて大学生になっていい経験になりました。私の目標は今年バイトしてみたいです!いっぱいお金を持って家族のお金を使わないでいっぱい遊びたいです。ふふ。あと私あまり家族と話しませんから、もっと一緒にお話ししたいですね。井上さんはどんな目標をもっていますか?

井上さん→ワンサイさん

1月12日

ワンサイさんから今年の私の目標を質問されていましたね。私の目標は、とにかく一年元気に過ごすことです。そのために、毎日ウォーキングとストレッチをやるのが第一です。次に絵画と旅行をもっと楽しみたいと思っています。

・・・編集後記・・・

白くて丸い顔に長い耳、×の口が特徴的なウサギのミッフィー、日本では1964年に「うさこちゃん」として絵本が出版されて以来長年親しまれてきました。オランダ出身の作者ディック・ブルーナは子どもが受け入れやすい本を作るため、色選びにはこだわったようで、白・黒のほか、赤・黄・青・緑(のちに灰色・茶色も追加)と、数少ない色で何十冊もの絵本を描きました。それぞれの色味が濃いのも印象的です。

ところで、ブルーナのように限られた色で絵本を作るとしたら、みなさんはどんな色を選びますか。最近、一足早く桜が咲いているのを見て、ふと日本人は桜の色を入れる人が多いのではないかと思います。個人の好みはあるものの、育った国や環境によって色や濃淡に対する感覚は異なるだろうと思い、色々な人に尋ねてみたくなりました。

(志村 真帆子)